

令和2年度 特別養護老人ホーム併設地域包括支援センターふじ寿か園 PDCAシート
(事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

生活支援についてボランティアセンターの立ち上げ、ささえあいバス運行が地域で実施されている。それぞれの利用者の増加につなげるために、広報の協力や運営への書類作成等の後方支援だけでなく協力していく。また昨年度行ったエンディングノートの内容に沿って、講座の開催をサロンなどで実施し、老後に関して不安の解消へつなげていく。地域特性として、福祉施設が多く、グループホームが中心となって、認知症の周知活動を行っている。
地域で実施しているインフォーマルサービスをケアマネジャーにも周知し、利用者の増加へつなげるとともに、ケアマネジャーからも地域に必要な社会資源の情報を収集していく。

今年度の重点的な取組

新規
継続

—具体的な取組内容—

<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	継続して、まちづくり委員会、生活支援推進委員会に参加し、地域が課題としているささえあいバス利用者を増やす、ボランティアセンターの活動に必要な体制づくりなど、支援チームと共に運営や周知方法など後方支援をしていく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・エンディングノートの講座を通して実施。前年度実施だけでなく、その後の経過など加筆修正していくためにも、講座を実施していく。 ・地区内のサロンや老人会に向けて出前講座を実施
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	GHと協働事業として小中学校で認知症サポーター養成講座を実施。一般向けにはサロンで実施。山下ふれあいまつりの継続実施を支援し、認知症についての周知活動を行う。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ケアマネジャーに事例を用いて、病識への理解や利用者本人だけでなく家族も含めたアセスメントができるように支援していく。介護サービスだけでなく、社会資源として、地域にあるインフォーマルの周知。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント

令和2年度特別養護老人ホーム併設地域包括支援センターふじ寿か園事業計画書・報告書(施設運営)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<ul style="list-style-type: none"> ・市、区や関係団体の連絡会等での研修に参加し、各職種に必要なスキルを学ぶ。 ・公正、中立性の確保について、利用者へホームページなど使用し情報提供を行い、本人が主体となって選択できるように動く。 	<p>緊急時対応マニュアルとしてファイルを作成。利用者の急変時や事故への対応、災害時の対応。苦情対応や個人情報に関するマニュアル作成。マニュアルを作成し、ファイルとして確認できるようにしている。</p> <p>法人が行う個人情報や人権などの職員研修に参加し伝達している。また行政や市社協が行っている研修へ必要に応じて参加している。</p>
実績		

